立　志

令和７年８月２９日（金）発行
学校便り第１０号
南城市立玉城中学校
文責　校長

学校教育目標：「自ら学び自ら考え」「心豊かに実践する」「たくましい生徒」の育成

２学期スタート

夏休みも終わり、８月２９日から２学期がスタートしました。生徒が元気に登校し、学校は生徒の声で溢れ、明るくなりました。始業式の生徒代表の挨拶を紹介します。

２年　長嶺　留奈

私が２学期頑張りたいことは２つあります。１つめは勉強をしっかりがんばることです。そのために家でその日に学んだ事を復習し、分からないところをつくらにようにしていきたいです。２つめはみんなと協力し、全力で楽しむクラスにしていくということです。２学期は音楽発表会や職場体験など様々な行事があります。にぎやかで楽しいクラスのみんなとチームワークの良さを生かして、みんなで協力し合い、全力で楽しんでいきたいです。私たち２学年は１学期、スポレクや学年レクを通し、楽しく過してきました。一方、時間を守れないという課題がありました。２学期は職場体験という大きな行事があります。社会ではあいさつと時間を守ることがとても大切です。そのため、日頃の学校生活から自分たちで時間を確認したり、お互いに声をかけ合い２分前行動を意識して取り組んでいきたいです。

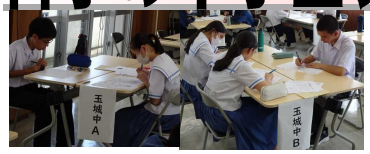
県吹奏楽コンクール

７月２３日に沖縄コンベンションセンター劇場を会場に第６５回沖縄県吹奏楽コンクールが開催され、本校の吹奏楽部が参加し、銅賞を受賞しました。日頃の練習の成果を発揮し、よい演奏を聴かせてくれました。このコンクールが最後の出演となる３年生も満足そうでした。送迎や参観していただいた保護者、関係者の皆様、ありがとうございました。

演奏前のミーティングの様子

科学の甲子園ジュニア

７月２９日に科学の甲子園ジュニア沖縄県大会の島尻地区予選が開催され、本校から２チームが参加しました。この大会は、チーム（３人）で協力して、科学の思考力や技能を競う大会です。結果はＡチームが８位、Ｂチームが１位となり、Ｂチームは８月２２日に県大会に出場しました。惜しくも県代表になることはできませんでしたが、島尻地区代表としてよくがんばりました。今後も思考力や探究心、創造性を高める教育を推進していきます。



地区予選の様子

県大会の様子

心を磨く・清掃活動

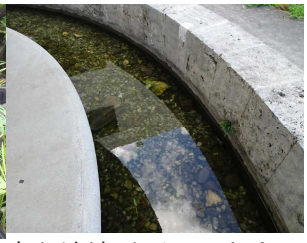
８月２８日に生徒会保健委員会の生徒研修として沖縄南部掃除に学ぶ会より講師を招き、「心を磨く・清掃活動」と題して清掃の研修を行いました。始めに講師の佐和田さんより掃除の理念について学び、その後、実際に校内のトイレ掃除に取り組みました。参加した生徒からは、「段々綺麗になってなっていくから、すごくやりがいがあって愉しかった」「掃除した後の達成感が嬉しい」「謙虚な自分になれた」「最後まで磨いてみたら心がすっきりした」などの感想が寄せられ、多くの学びを得ました。

便器を手で磨きました

記念庭園復活

学校創立５０周年記念事業でつくられた正門入り口にある庭園を修繕しました。この庭園は平成１１年（１９９９年）に玉城中学校創立５０周年記念事業期成会によってつくられた庭園で、つくられた当時は、庭園に水が滝のように流れていたそうですが、いつの頃からか、水の流れが止まり、庭園に隣接している池も黒く濁り、生き物も見えない状態でした。昨年度当初から何とかこの庭園を復活させたいと考え、各方面に相談しておりましたが、今回、現３年生（７８期生）の卒業記念の予算と玉城中学校２０期生、３２期生の皆様からいただいた寄付金を活用して、夏休み期間中に庭園の修繕を行い、庭園を復活することができました。つくった当時の想いを受け継ぎ、玉城中のシンボルの一つとして、また、生徒の憩いの場となればと思います。今後も引き続き地域に愛される玉城中学校を目指していきます。ご協力いただいた保護者や地域、関係者の皆様に感謝申し上げます。

修繕、整備の様子


整備後の庭園、せせらぎの音と清流が戻ってきました